

西郷村の人口及世帯数
(43.8.1現在)

世帯数	2,192
人口	10,626
男	女
5,219	5,407



発行日 昭和43年8月22日

発行所
西郷村役場
(電話磐城熊倉)
1番・2番・7番
編集発行人
企画課長 坂井周平
印刷所
ワタベ印刷所

稲作改善の夢をのせて



村で初めての空中防除

長坂と一の又に

例年豊作の声を聞いてし
ばらくになりますが、今年
も又稲作は順調な生育を見
せております。

又一方において今年くら
い米価の決定をめぐつて議
論の沸騰している年はあり
ません。

多くの矛盾をはらんで、
現行制度はいよいよ追いつ
められて来た感を深くしま
す。現行制度の上にあぐら
をかいている事が許される
ものでない事は誰しもが感
じて来ています。何とかし
なければと誰もが切実に考
えています。

この時に西郷村での最初
のヘリコプターによるいも
ち病の空中防除が、構造改
善地区である長坂と、赤坂
ダムの築造によつて開田さ
れた芝原、一の又、上野原
地区に決行された事は、将
来の西郷の稲作の一面を暗
示するものがあるといえま
しょう。

八月二日早朝、空は晴れ
上り無風状態で絶好の防除
日よりです。四時三十分、
ヘリコプターはプロペラの
音も高々と舞い上り上野原
一の又、芝原と白粉をはき
ながらまたたく間に防除を
終り、七時三十分には既に
長坂にかかりました。長坂
のほぼ六十ヘクタールの水
田が一時間十分で防除完了
八時四十分には行程はすべ
て終りました。

防除総面積百七十八ヘク
タール、散布したオリゾン
粉剤三千五百六十キログラ
ム、経費は十アール当り薬
剤代を含み三百円足らずで
各農家ではただ空を見上げ
ているだけで終つてしま
いました。

この十アール三百円足ら
ずの経費が高いか安いかは
この防除に向ける労力を有
効に生かす体勢にある人に
は安いでしょうし、ただ遊
んで生かし得ないような体
勢に置かれている人には高
いともいえましよう。

写真は長坂地区の
防除状況

空中防除はそんなところ
に問題をはらんでいるよう
です。

▽
△

考えさせられる村の姿

③

◇村の土地利用とその動向◇

下の図は西郷村の土地利用状況を示したごく大きな略図です。

西郷村は大きく土地利用の面で東西二つに分かれます。東半分には、丁度人間の五本の指のように隣線が走り、主として民有の山林原野を形成しています。その間の低地にはこれ又五条の水田地帯があり、そこに各部落が点在しています。

扱この東半分を更によく見ると北半分は山林と水田が交互に帯状になつていて比較的単純ですが、南半分は、中に工場あり観光会社ありの分譲地あり、市街地あり種畜牧場ありでかなり複雑な様相を呈しています。

次に西半分はどうかと申しますと、一番西にかなりの面積を占める国有林があり、種畜牧場用地と自衛隊の演習場があります。又若干の村有林もあります。それから酪農を主体とする開拓地、二つのゴルフ場と温泉を中核とする観光地、観光会社社の分譲地等によつて占められています。

これらの現在比較的整然

と分けられた土地利用区分も、東北自動車道のインターチェンジの設置、その他の道路網の整備、水道、下水道、住宅建設、工場の進出等の各種事業の進展と相まつて、それぞれが大きく変動する可能性をひめています。

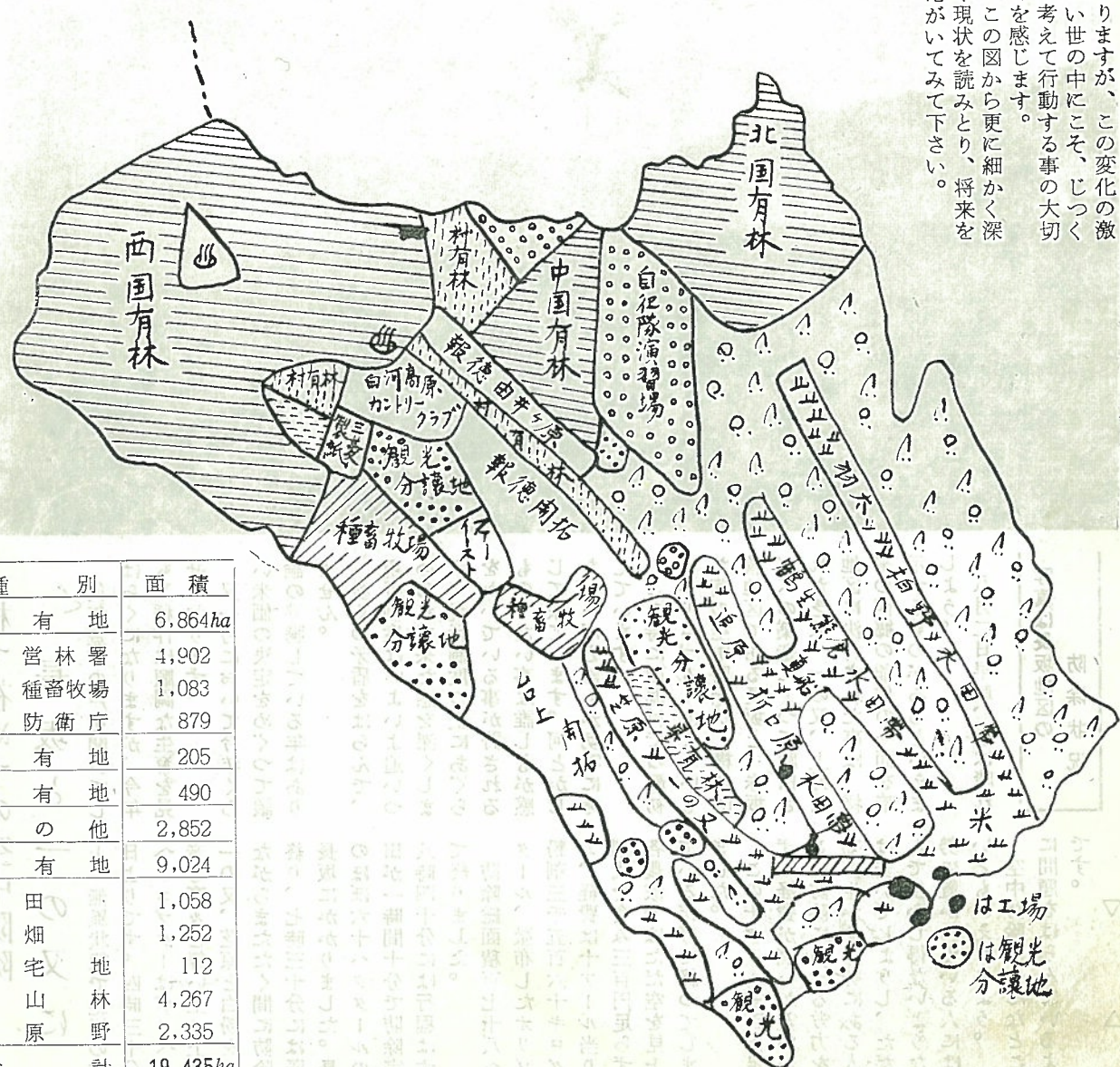
国有林にも大規模牧野造成や国設スキー場の建設の計画があります。県有地も村有地も民有地も、大きく変化する要素をばらんでいます。

東南地区には、まだまだ各種の第二次三次の産業が進出して来るでしょうし、観光地、宅地の開発も活発になるでしょう。又農業も現状維持ではすまされなくなるでしょう。東北地区も現在の山林と水田の単調な姿ではすまされなくなりそうです。中央部の開拓地の観光地、分譲地にも変動の気運は動いています。

これらは、なりゆきにまかせておいても変わるものは変つてゆきます。けれどもこの変動の中に、私達の夢、希望、意図、計画、といったものは盛りこんで行けないものでしょうか。

勿論、計画の持ち方にも

よりですが、この変化の激しい世の中にこそ、じっくり考えて行動する事の大切さを感じます。
この図から更に細かく深く現状を読みとり、将来をえがいてみて下さい。



種別	面積
国有地	6,864ha
営林署	4,902
種畜牧場	1,083
防衛庁	879
県有地	205
村有地	490
その他	2,852
民有地	9,024
田	1,058
畑	1,252
宅地	112
山林	4,267
原野	2,335
総計	19,435ha

第四回臨時議会議開かる

国保税条例の改正など

七月三十一日、村議会第四回臨時議会が召集され、国保税条例の改正、西白河衛生処理一部事務組合規約の改正、旧市町村職員恩給組合資産管理組合規約の改正、有線放送特別会計の補正予算、諸願陳情についての審議などで、一日間開催されました。

始まった明治百年行事

運動会や共進会など

国保税条例の改正は、退職所得金額が国保税算定の基礎金額から除外された事と、当初予算で四十三パーセントも増大した保険給付費をまかなう為には、国庫支出金で四十六パーセントの増加を見たといえなお大幅の国保税率の引き上げを余儀なくされた事との二点にあります。そのため各算定基礎税率金額が引き上げられました。細部については、国保税特集号によってお知らせします。

次に西白河地方衛生処理一部事務組合では、先にし尿消化槽を設置し、その事を規約にうたつていました。が、今回鹿野焼却炉も設置できるよう規約を改め、都市化の進む現状に対処しよ

又有線放送電話特別会計の補正予算は、事業費の変動にもなる歳入歳出の補正です。

その他、新たに出された請願陳情と以前から出されていたものに対する処理の方法についての審議があり一日の会期を終りました。

明治百年記念行事はかねがねいろいろと計画されていましたが、この程いよいよ具体化の一步を踏み出しました。

まずその先陣を承つたのが村民大運動会です。この行事は今年で第三回目、八月十八日好天に恵まれて盛大に開催されました。

参加者も年とともに増加して、進行係がうれしい悲鳴をあげた位でした。どれも力一ぱいのプレーに終始し、童心にかえつて、手足をのばし、心もとけ合つて村民親睦の実が大いに上つた事は喜ばしいことです。

又お昼休みには、役場チーム、西原チーム、川谷チームなどの仮装行列が出動して、趣向をこらした迷演

兼ねた共進会です。種目は和牛と乳牛で、百二十頭を予定しています。この目標以上になるように積極的な参加をお願いします。

又、献血バスは、そのために健康な時に献血をしてお

献血バスは、そのために健康な時に献血をしてお

献血バスは、そのために健康な時に献血をしてお

献血バスは、そのために健康な時に献血をしてお

農業短期大学生の募集

県の農業短期大学生を募集しています。

この大学は県農業講習所、県蚕業講習所、県畜産講習所、県農協講習所を統合して、昨年度発足したものです。

税務署だより

教育目標は、一般教養と農業に関する科学的、専門的な知識、技術を高め、農業近代化を推進するための人材を養成することにあります。

修業年限は二カ年で、卒業生は農業改良普及員、国家公務員中級職、農協営農指導員その他いろいろな受験資格を得ます。

学生生活は全員入寮で、寮生の自治生活を送っています。

来春一月十五日までに願書を出し、希望される方は役場の経済課までお問い合わせ下さい。

●税金はみんなのためです
税金は国の大切な収入で、いろいろな仕事が行なわれ、わたくしたち国民生活の安定と向上のために還元されています。

●昭和三十九年度の一般会計予算は、五兆八、一六六億円で、このうち約八七％の五兆六七八億円は税金でまかなわれます。又国民一人当りの国税負担額は五万五千二百円となります。

●災害には税の減免が
災害を受けたときにはいろいろな税の減免の手段がありますから、ご相談下さい。たとえば、住宅や家財について二分の一以上の損害を受けたとか、以上の損害額が年所得金額の二割をこえるときは、所得税が軽減されたり免税されたりします。

又災害があつたときは、申告や申請の期限が延長されたり、納税が猶予されたりする制度もあります。

中小企業者に融資

店舗等近代化資金の申し込みの受けつけが始まります。この制度は、県の中小企業団体中央会が申し込みを受けつけて審査を行なう事により、銀行の信用をとりつけ、地元の銀行の資金を借りる事ができるものです。

この制度の有資格者は、一年以上現在の業務を営む者で県民税、事業税を完納している者です。融資額は三百万円以内で、七年以内に償還する事になります。中、一年は据置が認められます。償還は年賦でも半年賦でも月賦でも結構です。

利率は七分三厘です。保証人は一人以上で担保も要求する事があります。

申込みの受付は九月一日から三十日まで、又審査会は十月十六日の予定です。次の申込み受付は明年の二月を予定しています。ご希望の方は白河商工会議所へお問い合わせ下さい。

みやま荘 職員募集

新甲子国民宿舎みやま荘で只今職員募集中です。男女それぞれ若干名で年令は問いません。

住み込み可能の方で、男の方は雑役を、女の方は接待をすることになります。

待遇は地方公務員として身分が保証され、待遇されます。

又パートタイムの通勤も結構です。

応募される方は直接みやま荘へおでかけの上ご相談下さい。

七月の行事報告

行事

- | | | |
|----|-----|-------------------------|
| 1 | (月) | 町村会定例会、農業技術者会議 |
| 2 | (火) | 農業電話代表者との懇談会 |
| 3 | (水) | 西白河地方国保協議会総会 |
| 4 | (木) | 国保保険者指導監査、昭和化成協議会 |
| 5 | (金) | 議会委員選小委員会 |
| 6 | (土) | 有線放送小委員会 |
| 7 | (日) | 参議院議員選挙 |
| 8 | (月) | 農業委員会、広域教委研究会 |
| 9 | (火) | 東西白河町村長懇談会 |
| 10 | (水) | 厚生委員等水道打合会、白河地区水道協議会役員会 |
| 11 | (木) | たばこ耕作組合総代会、米価要求大会 |
| 12 | (金) | 老人クラブ研修会、砂防協会総会 |
| 13 | (土) | 農事組合長会議 |
| 14 | (日) | 葉たばこ耕作組合表彰、ダム調査 |
| 15 | (月) | 自治青年会球技大会 |
| 16 | (火) | 西郷村たばこ関係者座談会、治山林道協会役員会 |
| 17 | (水) | 県道舟津羽鳥白河線改良陳情 |
| 18 | (木) | 県広報協会総会 |
| 19 | (金) | 葉たばこ耕作組合総会、地方交付税算定 |
| 20 | (土) | 新農政問題協議会 |
| 21 | (日) | 国土調査協力員会 |
| 22 | (月) | 農集電話組合総会 |
| 23 | (火) | 県社会福祉大会(22、23日) |
| 24 | (水) | 有線放送運営視察(23、24日) |
| 25 | (木) | 町村会 |
| 26 | (金) | 広域教委研究会、農業改良推進員会 |
| 27 | (土) | 課長会議、県南総合開発協議会総会 |
| 28 | (日) | 国保運営協議会、村民大運動会打合会 |
| 29 | (月) | 西郷白河開発促進協議会総会 |
| 30 | (火) | 国保連合会総会 |
| 31 | (水) | 公有林野協会総会
村議会第四回臨時会 |

